

学校評価の公表について (手段・時期等)	・3月中にホームページにアップして、学校評価を公表する。
-------------------------	------------------------------

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学校経営	<p>①ホームページの内容はシンプルで見やすく、情報量も多いので、生徒の活動状況がよく分り高く評価できる。 週1回以上程度の更新は大変だと思うが、外部からも学校の様子が分かるので継続してほしい。 保護者のみならず、在籍生徒もホームページで学校の活動を確認してる。</p> <p>②災害時等の情報発信方法は、完全に対応できるものではないと思うが、正確で迅速な情報を発信できるよう校内のシステムを見直してほしい。</p> <p>③最近、若手教員の不祥事の新聞記事を目にすることが多く感じられる。若手モラルアップ委員会を職員全体で盛り上げて、不祥事根絶に取り組んでほしい。</p> <p>④学校説明会への参加者の増加は、中学生及びその保護者が本校に興味を持っている証拠であり、評価できる。 学校説明会に「体験授業」を組み入れることを検討してほしい。 受検生の地域拡大よりも、地元の生徒が通える学校であってほしい。</p> <p>⑤地域に、法典高校が「宿泊可能な避難所」であることを周知し、災害時に備え合同で避難訓練等を行う必要がある。</p>	<p>①ホームページについて内容や更新の頻度に関しては、目標に達していると考えている。 来年度は、さらなる内容の充実に努めていく。 個人情報の保護については、生徒及び保護者の承諾の取り方を検討していく。</p> <p>②昨年の台風26号襲来時における対応の反省を踏まえて、正確な情報を迅速に発信できるよう、模擬訓練をするなど体制を整備していく。</p> <p>③学校独自の若手モラルアップ委員会は、軌道にのってきている。来年度は、ベテラン教員との座談会などを企画させ、学校全体のモラルアップを図りたい。</p> <p>④本校への中学生及び保護者の関心の高さがうかがえるので、期待に応えるようさらに学校運営の質の向上に努めていく。 「体験授業」等の実施も検討していく。 地元とのつながりをさらに強化していきたい。</p> <p>⑤来年度は、校内で行われる避難訓練に地域住民の参加を求めていきたい。</p>
	<p>⑥アンケート結果からも、個々の能力に応じた指導をしていることがよくわかる。 特に1学年の出席率98.5%は、入学する生徒の変容と考えることもできる。</p> <p>⑦「ルールを守って学校生活を行っている」87.0%という数字は、通学する生徒の姿を見てもよく分かる。 社会に出てからもルールを守れる人間を育成できていると感じる。</p> <p>⑧相談できる場所があることは、生徒にとってありがたいことである。 相談室に来室できない生徒に対し、相談ポストなどの設置を検討してほしい。</p> <p>⑨将来検討委員会は、職員及び生徒の意見を聞きながら丁寧に行ってほしい。</p>	<p>⑥各学年室を核に学校全体として、生徒理解が深く、個に応じた指導・支援が確立されている。 来年度は、職員に対し今後必要な特別支援教育に関する知識・技能の研修を行って行きたい。</p> <p>⑦特定の生徒の遅刻等への対応について、家庭との連携の強化を図っていく。</p> <p>⑧相談室の在り方を再検討し、機能を充実させていく。 相談ポスト等については、検討していく。</p> <p>⑨中長期における学校の在り方を具体的に検討していきたい。</p>
	<p>⑩各委員会の活動は定着してきたが、より多く</p>	<p>⑩保護者が学校活動に関心を持つことができ</p>

	<p>の意見を得るため、活動に参加する保護者の数を増やす工夫を考えてもらいたい。</p> <p>⑪ P T A総会の参加について、参加率向上のために、保護者の関心のある企画を同日に実施する等の工夫が必要である。</p> <p>⑫ 今後も、適正で効率的な財産管理と公金の扱いに努めてほしい。</p>	<p>るよう、保護者のニーズを調べP T A活動の活性化に努めていく。</p> <p>⑪ 来年度は、総会を土曜日に設定して、授業参観及び進路講演会を企画して参加率の向上に努める。</p> <p>⑫ 事務長を中心に適切な予算執行に努めていく。</p>
<p>学習活動</p>	<p>①④ 授業を参観し先生方の授業の工夫の様子は承知している。先生方の望む理想と、生徒のニーズのギャップが気になるところである。</p> <p>② 各種検定への挑戦は、生徒に目標を持たせ、達成感が得られることからすばらしい試みである。やらされるのではなく、自分のステップアップのために進んで受験するよう指導してほしい。</p> <p>③ 先生方には、互いの授業を参観することで授業力アップに努めてほしい。</p> <p>⑤ 「やればできる、先生方も協力してくれる」ということを生徒に周知し、学習意欲を持つ生徒が上級学校に挑戦するよう指導してほしい。</p> <p>⑥ 道徳教育は、義務教育から行っているものだが、しっかり道徳心が身につくまで繰り返し指導してほしい。</p> <p>⑦ 年齢の離れていない若者の話（人権コンサート）は、生徒に受け入れやすいものであったと思う。社会に出ると「人権」について感じることも多いもの、高校時代にしっかりと指導してほしい。</p>	<p>①④ 目の前の生徒の実情を再確認し、本校の特徴である「ユニバーサルデザインに則った授業」について全体研修を行い、個々の生徒に「わかる授業」を体験させたい。</p> <p>② 各種検定試験は生徒の目標づくりに役立つことから、継続して行っていく。キャリア教育を充実させ、希望者検定試験の挑戦者の拡大を図っていく。</p> <p>③ 職員間の授業参観は、多忙な時期を回避するよう時期の検討をする。</p> <p>⑤ 今年度1名、4年生大学への一般受験に挑戦し見事合格することができた。今後も、意欲ある生徒への対応を大切にしていきたい。</p> <p>⑥ 今年度の実施状況をしっかり検証し、来年度の授業計画に反映していく。</p> <p>⑦ 型にはまった企画だけではなく、生徒が受け入れやすい企画を考え、人権教育をすすめていく。</p>
<p>生徒指導</p>	<p>① 教育相談等が組織的に行われていることが分かり安心である。学校と保護者の連絡を密にして、問題解決をしていってほしい。</p> <p>② 遅刻の常習者に対しては、家庭と連携をとって時間をかけて指導していく他はないと考える。</p> <p>③ 各種カードの発行数の減少は、一斉指導や学年毎の根気強い丁寧な指導によるものと考えられる。生徒の側から考えると、小さなことを見逃さない指導が、先輩から後輩にしっかりと伝わっているものと思われる。</p> <p>④ 道路交通法の改正等も踏まえ、自転車の乗り方については、重ねて指導が必要であると感じる。事例を挙げて具体的に指導していってほしい。</p>	<p>① これまでの実践を継続、発展させながら、相談委員会と担任及び保護者の連携をより密にするために、職員に対して生徒理解の知識と実践方法を研修していく。</p> <p>② 遅刻の常習者に対しては、今後もあきらめることなく、学校をあげて家庭と連絡を取りながら根気よく指導していく。</p> <p>③ 小さなことを見逃さずに、細かく指導していく本校の指導方法によって、大きな問題の発生を防いでいるという強い意識を持って、現行の指導体制を継続していく。家庭への通知等、小忠実な対応を徹底して行っていく。</p> <p>④ 自転車のマナーについては、事例をとおして原因や賠償の問題等をしっかり指導していく。特に新生入生が通学を始める4月の指導を重点的に行っていく。</p>

<p>キャリア教育</p>	<p>①進路説明会やガイダンス、インターンシップ上級学校見学会など学年毎(生徒の発達段階)に機能的に計画され、概ね実施できている。公務員志望者に対する指導の強化をお願いしたい。</p> <p>②保護者向け進路講演会への参加が少ないのは残念だが、その分を「進路ニュース」等をとおして、家庭で親子が話し合う機会をつくれるよう、資料提供(特に公務員情報)をお願いしたい。</p> <p>③身近な先輩たちの経験は、自分に置き換えて考えることができる良い企画と考えられるので、継続して実施してほしい。</p> <p>④進路指導は、生徒、保護者及び先生の三者面談が基本と考える。そこから、厳しい進路決定に向け最善の方法を模索していけることを期待する。先生方から、教え子の体験等を話していただくことも有効だと思われる。</p> <p>⑤日本経済はアベノミクス効果で向上されているというが、高卒の就職は、なお厳しいと聞く。生徒の選択の幅を広げるために、新規の企業開拓をさらに推進してほしい。</p> <p>⑥LHR, 総合的な学習の時間を利用し、具体的な進路実現対策の取組を実施していることが分かった。</p> <p>⑦将来漢字を学んでいて良かったと思える日が来ると思う。今後も検定試験等に、積極的にチャレンジするよう指導してほしい。</p>	<p>①進路指導部と学年職員の手厚い指導の下、進路決定率は高い数値を維持している。今年度の実績を十分精査し、来年度以降の進路指導に役立てていく。</p> <p>②保護者向けの進路説明会を土曜日実施として参加者の増加考えていく。公務員に関する情報については、職種も含めて強化していく。</p> <p>③来年度も、卒業生の関わる進路行事を実施していきたい。</p> <p>④生徒、保護者及び教員の三者面談をとおして、生徒の将来への意識を具体化させていきたい。面談期間以外にも、気軽に担任と面談ができるよう環境を整えていきたい。</p> <p>⑤就職活動の長期化にともない、担当職員の負担が増加しているが、校内の役割を整理し、さらに新規企業の開拓に努めていく。</p> <p>⑥実践的な進路実現対策を精査し、今年度の進路決定率を上回れるよう、計画を立てていく。</p> <p>⑦希望者検定試験(英語・数学)の検定試験に対する、挑戦率を上げていきたい。</p>
<p>特別活動等</p>	<p>①体験活動は、生徒にとって貴重な体験となっている。今後も大いに推進してもらいたい。近隣の梨畑農業体験なども考えられる。2年生の保育園体験学習は、継続してほしい。</p> <p>②学校が通学路の清掃を行っていることを地域の住民は喜んでいが、たばこのポイ捨て等まだゴミは一掃されていない。今後は、この活動を近隣住民と合同で行うことはできないか検討してほしい。</p> <p>③部活動への加入は人間形成に役立つと考える。部活動が活発になり、地域も喜ばしい。文化系の部活動も活発になっていると聞く、応援していきたい。</p>	<p>①体験活動は継続していくが、3年をめどに作業・場所等については検討をしていく。</p> <p>②清掃にこだわらずに、地域に貢献、又は地域とともにできるとを企画していきたい。</p> <p>③活発になった全部活動を統轄する組織として、顧問間の連絡調整を図るための部活動委員会の組織の整備をしていく。</p>
<p>特色ある教育活動</p>	<p>①特別支援学校の経験を持つ先生方がいることは、学校にとって大きな財産と考えられる。リーダーシップを持って特別支援のノウハウを学校に還元してほしい。</p> <p>②船橋特別支援学校との交流は、高く評価する。生徒には、当たり前前に生活することが恵まれていることを自覚して、特別支援学校の生徒との交流を機に人間的な成長をしてほしい。</p>	<p>①中学校や特別支援学校の経験を持つ職員の特徴や力量を他の職員に伝えていくことができる機会を設けていきたい。</p> <p>②公募により生徒会役員以外の生徒も、交流に参加させていきたい。</p>